

MRI 検査時の注意点

放射線技師 中島 さゆり

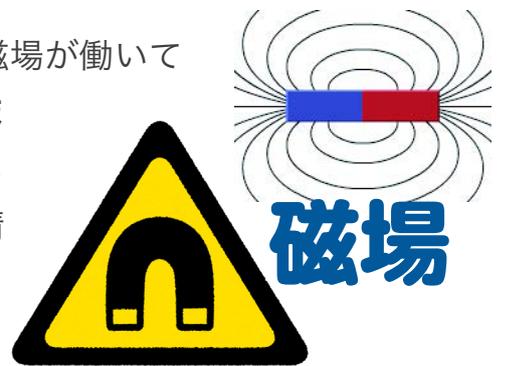


MRI 検査とは磁場と電波を使用して、画像化する検査です。X 線 CT 検査と違い X 線を使用しないため放射線被ばくのない非侵襲的な検査ですが、検査時間が長く動きに弱い検査で強力な磁場を使用しているため検査中の騒音があり、工事現場のような音がする検査といわれたりします。

レントゲン写真や CT 検査では、金属が写真に写ってしまうためズボンを下げたり、湿布を外して検査をします。MRI 検査の場合も同じように準備が必要です。撮影した写真に支障を出さないためということもありますが、「患者を守る」「医療事故を防ぐ」ということが目的です。

MRI 検査は磁場を使用しています。

磁石にクリップがくっつきまますよね。そのかなり強力な磁場が働いている状態です。したがって検査室の中には金属を持ちこめません。機械に近いほど磁場が強く、酸素ボンベがすい寄せられ、飛んで行ってしまうほどです。クレジットカード等の情報がなくなってしまう使用できなくなってしまうので、お財布も入室する際はロッカーに入れていただきます。



ペースメーカーをされている方、シャント、血管ステント、クリッピング、インプラント等がある場合は検査を受けられません。しかし、手術を受けてからの期間や素材によっては検査が可能な場合もあります。

ほかにも刺青やカラーコンタクトレンズ、一部の化粧品では発熱するおそれがあります。

検査予約をしますと説明書をお渡ししていますので、お読みください。

心配な点・気になる点がありましたら、検査の予約時には医師・看護師に、検査時には担当技師に相談してください。

当院では MRI 検査を受ける患者様全員に、原則として検査着へ着替えていただいています。30 分の検査枠をおとりしていますが、撮影時間が約 25 分となります。今の時期はたくさん着こまれていますので着替えにも時間がかかるかと思えます。入室前に問診も行っていますので検査時間の 30 分前には来院していただくようにお声掛けしています。

ご協力よろしくお願いたします。

MR室入室の方へ

MR室内は強い磁場になっています
安全のためつぎのことをお守りください

MR室内
高周波使用

入室禁止 (医師の許可なく入室禁止)

- ペースメーカー装着者 (心臓のイラストに禁止マーク)
- 体内に磁性金属のある人 (頭のイラストに禁止マーク)

持込禁止

- 金属性装身具 (ピアス、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、指輪、腕時計、手錠)
- 鉄製小物 (ハサミ、指甲刀、カッター、ドライバー、ペン、鉛筆、ボールペン、シャープペン、ボールペン、ボールペン、ボールペン)
- 鉄製移送用機器・鉄製補助用具 (車椅子、ベッド、ベッド、ベッド、ベッド)
- 鉄製容器 (缶、ビン、ペットボトル、マグカップ)
- 精密機器・電子機器 (携帯電話、デジタルカメラ、ビデオカメラ、ビデオカメラ、ビデオカメラ)
- 磁気記録媒体 (ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM、DVD-ROM)
- 鉄製工具・鉄製掃除用具 (ドライバー、ペン、鉛筆、ボールペン、シャープペン、ボールペン)
- 鉄製運搬機器 (車椅子、ベッド、ベッド、ベッド、ベッド)

※ 磁石により故障、またはデータが消失される恐れがあります
* 鉄製とは磁性性非鉄製のものを代表しています
JESRA X-62

検査室へ持ち込めないもの (一例)

- ケータイ
- カード (クレジットカード)
- コルセット
- メガネ
- 補聴器
- カギ
- ブラジャー
- 貼り薬
- ニトロダーム
- ホッカイロ
- ヘアピン
- マスク
- 腕時計
- エレキバン
- ズボン
- 入れ歯
- アクセサリー
- お金 (硬貨、紙幣)